

CentreCOM FH708EL

ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FH708EL をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、100BASE-TX/10BASE-T オートネゴシエーションポートを 8 ポート装備したデュアルスピードのファーストイーサネット・リピータです。

接続したポートの通信速度によって、自動的に100Mbpsと10Mbps の2つのドメインを内部で構成し、それぞれのドメイン間で通信が可能なブリッジ機能を持つため、100Mbps と10Mbps が混在したネットワーク環境でのご使用に最適です。

本書をよくお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

● 特長

- コンパクトなボディサイズ
- 100BASE-TX/10BASE-T オートネゴシエーション機能
- 100Mbpsから10Mbpsへの転送時にパケットの損失を防ぐバックプレッシャ機能
- 外部電源型 AC アダプタの標準装備)
- カスケード接続専用のポートを 1 ポート装備
- ネットワークや機器の状態が一目でわかるLED表示機能

● 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

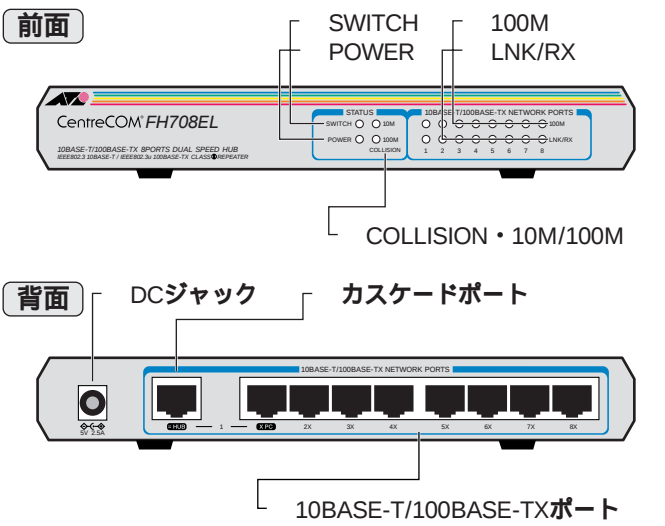
万一、欠品、不良などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- CentreCOM FH708EL 本体
- AC アダプタ
- ゴム足(粘着タイプ・4 個)
- ウォールマウント用タッピングスクリュー(2 個)
- プラスチックアンカー(2 個)
- マグネット Kit M(別売・取付用ネジ(4 個))
- 保証書
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

● 再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

● 各部の名称と機能



SWITCH(緑)
100Mbpsと10Mbpsの間でパケットの転送が行われているときに点灯します。

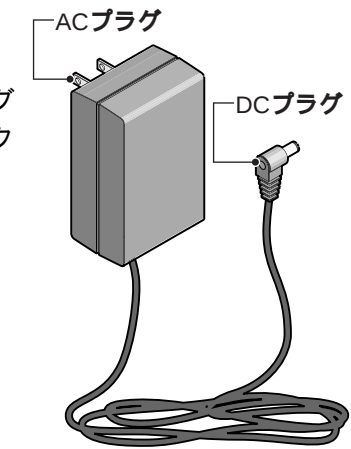
POWER(緑)
電源が正しく供給されているときに点灯します。

COLLISION・10M/100M(橙)
コリジョンが発生しているときに点灯します。100BASE-TX のドメインで発生している場合は「100M」、10BASE-T のドメインで発生している場合は「10M」が点灯します。

100M(緑)
ポートが、100Mbps で正常に動作しているときに点灯します。
10Mbps で動作しているときは点灯しません。

LNK/RX(緑)
ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態のときに点灯します。
また、パケットが正しく受信されているときに点滅します。

DC ジャック
AC アダプタの DC プラグを接続するためのコネクタです。



カスケードポート
(= HUB ポート)
他のリピータやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用ポートです。
このポートは、10BASE-T/100BASE-TXポートのポート1(× PC ポート)と共用のため、ポート1(× PC ポート)と同時に使用することはできません。

10BASE-T/100BASE-TX ポート
100BASE-TX、または 10BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクタです。
このポートは、オートネゴシエーションによって通信速度(100Mbps/10Mbps)を自動検出し、最適な状態で接続します。
(通信モードは、Half Duplex 固定となります。)
また、ブリッジ機能によって 100BASE-TX ポートと 10BASE-T ポートの間で相互に通信を行うことができます。
ポート1(× PC ポート)は、カスケードポート(= HUB ポート)と共用のため、カスケードポート(= HUB ポート)と同時に使用することはできません。

● 設置するまえに

- 設置場所**
本製品を設定する場所については、次の点にご注意ください。
 - 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
 - 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
 - 十分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。
 - テレビ、ラジオ、無線機などの側に設置しないでください。

- 電源**
必ず付属の AC アダプタを使用し、AC100/120V のコンセントに接続してください。
それ以外の AC アダプタやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

- ゴム足の取り付け**
本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ず付属のゴム足を取り付けてください。
本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をします。
本体底面の四隅に□マークがありますので、汚れをよくふき取ってから、その位置にゴム足を貼り付けてください。
また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

- 壁への取り付け**
本製品を壁などの垂直な面に取り付ける場合は、付属のウォールマウント用タッピングスクリュー(必要場合は、プラスチックアンカー)を使用してください。

- 次の点を考慮して、設置場所と設置方向を決めてください。
 - ケーブルおよびアダプタの接続が可能であること
 - LED の表示が監視可能であること
- 壁に 2 つの穴をあけます。
このとき、穴の間の距離が、本体底面にある 2 つの取り付け穴の間の距離と同じ間隔になるように注意してください。
- プラスチックアンカーを穴にさしこみ、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。
壁が堅く、ネジがたつ場合はプラスチックアンカーは必要ありません。
- タッピングスクリューのネジ頭を 5mm ほど残し、ネジがたたない場合はプラスチックアンカーに、ネジがたつ場合は壁にじかにねじ込みます。
- 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして、本体を壁に取り付けます。
ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

● 接続のしかた

- ケーブル**
すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。
また、ケーブルは 100BASE-TX の場合は**カテゴリ5**の UTP ケーブル(ストレートタイプ)、10BASE-T の場合は**カテゴリ3**以上の UTP ケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

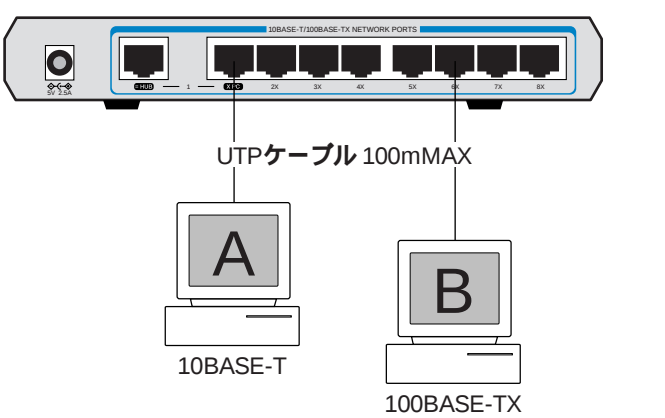
- 起動と停止**
本体背面の DC ジャックに AC アダプタの DC プラグを接続しておきます。AC アダプタの AC プラグをコンセントに差し込むと起動します。
AC アダプタの AC プラグをコンセントから抜くと停止します。
本製品に電源スイッチはありません。
AC アダプタの AC プラグをコンセントに差し込んだ時点で、電源がオンとなりますのでご注意ください。

- 通信モード**
IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、**必ず接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。**

- 接続手順**
 - 本体背面の 10BASE-T/100BASE-TX ポートに UTP ケーブルを接続します。
 - ネットワークに接続する端末に、100BASE-TX/10BASE-T ネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTP ケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
 - AC アダプタの DC プラグを本体背面の DC ジャックに差し込んでから、AC プラグをコンセントに差し込みます。
 - 本体前面の POWER LED が点灯することを確認します。
UTP ケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートの LNK/RX LED が点灯します。

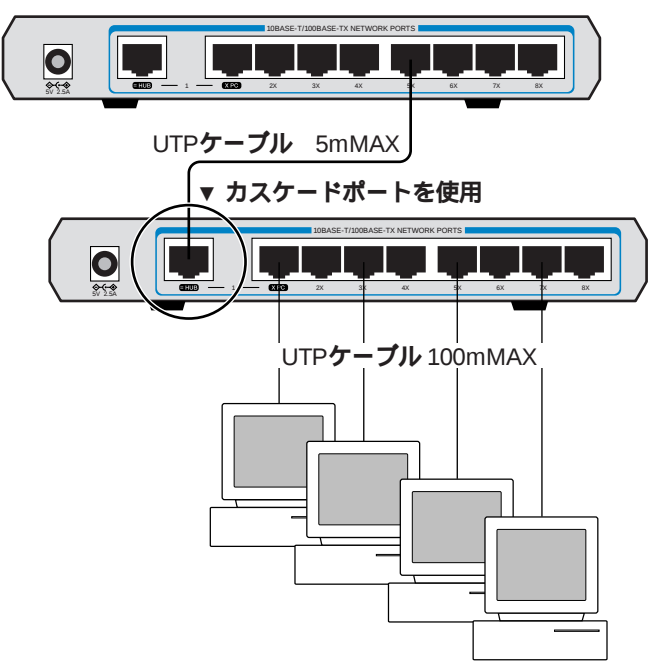
● スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。
本製品と端末間の UTP ケーブルの長さは 100m 以内にしてください。
端末 A と端末 B は、ブリッジ機能によって相互に通信を行うことができます。
また、10BASE-T と 100BASE-TX はそれぞれ独立したコリジョンドメインを構成します。



● カスケード接続

カスケードポートを使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続を行うことができます。



- 接続手順**
 - 本体背面のカスケードポートに UTP ケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
カスケードポートは、10BASE-T/100BASE-TXポートのポート1(× PC ポート)と共用のため、ポート1(× PC ポート)と同時に使用することはできません。
 - UTP ケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続機器の通常の 100BASE-TX/10BASE-T ポートに接続します。

- ケーブル長**
他のリピータの 100BASE-TX ポートと接続する場合
→ UTP ケーブルは 5m 以内(カスケード接続ができるのは、クラス II リピータのみです。)

- 他のリピータの 10BASE-T ポートと接続する場合**
→ UTP ケーブルは 100m 以内

- 他のスイッチ、ブリッジ、ルータなどと接続する場合**
→ UTP ケーブルは 100m 以内

- 本製品同士を接続する場合**
→ UTP ケーブルは 5m 以内(本製品は、オートネゴシエーションによって 100Mbps で接続され、クラス II リピータとして機能します。)

● トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、次のことを確認してください。

- POWER LED は点灯していますか?**
POWER LED が点灯していない場合は、AC アダプタのコードに断線がないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

- LNK/RX LED は点灯していますか?**
LNK/RX LED は接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。
点灯しない場合、次のことを確認してください。

- 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。
また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

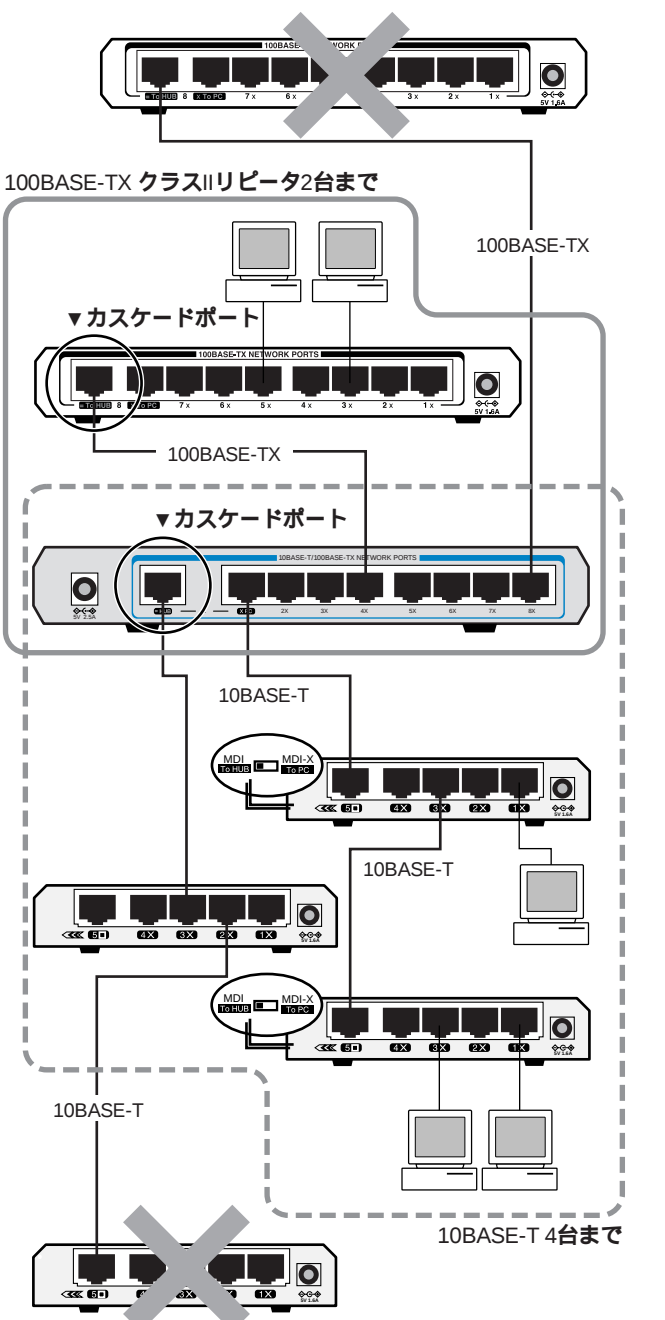
- UTP ケーブルが正しく接続されているか、正しい UTP ケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。
また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。
10BASE-T の場合、本製品と端末を接続するケーブルの長さはすべて 100m 以内です。
100BASE-TX の場合、本製品と端末を接続するケーブルの長さは 100m 以内、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さは 5m 以内です。

- 本製品のカスケードポートを確認してください。
本製品とリピータやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のリピータやスイッチの通常の 100BASE-TX/10BASE-T ポートを接続してください。

- 特定のポートが故障している可能性もあります。
ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

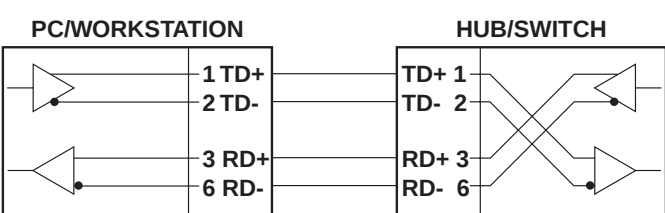
- 接続先の機器の通信モードを確認してください。
本製品の 10BASE-T/100BASE-TX ポートは、通信速度(100Mbps/10Mbps)を自動検出して最適な状態で接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。
IEEE 802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、必ず接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

- リピータの数が制限を超えてないか確認してください。
10Mbps 接続の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大 4 台までとされています。
100Mbps 接続の場合、クラス II リピータは、1 つのコリジョンドメインで 2 台までをカスケード接続することができます。
この場合、リピータ間のケーブルの長さは 5m 以内としてください。
なお、クラス I リピータは、カスケード接続することができません。



● 推奨ケーブル

- 100BASE-TX/10BASE-T ケーブル**
次のような結線(ストレート)の UTP ケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable = シールドなしツイストペアケーブル)を使用してください。
100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 の UTP ケーブル、10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上の UTP ケーブルを使用してください。



● 製品仕様

- サポート規格**
IEEE802.3 /IEEE802.3u

- 電源部**

定格入力電圧:	AC100/120V
入力電圧範囲:	AC90 ~ 130V
定格周波数 :	50/60Hz
消費電力 :	11W(平均)
発熱量 :	10kcal/h

○ 環境条件

保管時温度：-20 ～ 60
保管時湿度：95% 以下
(ただし、結露なきこと)
動作時温度：0 ～ 40
動作時湿度：80% 以下
(ただし、結露なきこと)

○ 外形寸法(突起部含まず)

：19ㄩ(W)ㄩ11ㄩ(D)ㄩ28(H)mm

○ 重量

：600g(AC アダプタ含まず)

○ MAC アドレス登録数

：2K

○ アドレス保持時間

：300 秒

○ 適用規格

EMI：VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(V C C I)の基準に基づくクラス A 情報処理装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。
「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

● ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。
電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。
FAX で詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

● アライドテレシス サポートセンター ●

Tel: 0120-860-772
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: 0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

● 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● 使用しているハードウェアについて

* 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)


S/N 000770000002346 Rev AA

● お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

● おことわり

・本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright 1998-1999 アライドテレシス株式会社

● 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

● マニュアルバージョン

1998 年 11 月 Rev.A 初版
1999 年 2 月 Rev.B 記述追加

調査依頼書 (CentreCOM FH708EL)

年 月 日

一般事項

1. 御社名：

部署名：

ご担当者：

ご連絡先住所：〒

TEL:

()

FAX:

()

2. 購入先：

購入年月日：

購入先担当者：

連絡先(TEL):

()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種 (製品名) シリアル番号、リビジョン

製品名：CentreCOM FH708EL


S/N _____ Rev _____

2. お問い合わせ内容

☐ 別紙あり

☐ 別紙なし

☐ 設置中に起こっている障害

☐ 設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

☐ 別紙あり

☐ 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。



分解禁止

分解や改造をしない

ネジで固定されているパネルやカバーを開けたり、部品を変更して使用したりしないでください。
内部には電圧が高い部分があり、感電や発火のおそれがあります。



感電注意

雷発生時には装置にさわらない

雷発生時には、本体、および電源コード、接続ケーブルなどにさわらないでください。
雷発生時に本体、ケーブル類に触れると感電のおそれがあります。



禁 止

指定の電源電圧以外を使用しない

電源プラグは、AC100/120V のコンセント以外には差し込まないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
他の装置と併用すると、分岐コンセント部の発熱による発火や感電のおそれがあります。



指 示

通気口をふさがないように設置する

本製品の通気口をふさがないように設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁 止

ACアダプタのコードを傷つけない

ACアダプタのコードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルを傷め、火災や感電のおそれがあります。



禁 止

不適切な場所に設置や保管をしない

次のような場所に設置や保管をしないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
・直射日光の当たる場所
・高温、多湿の場所
・火気のある場所
・ほこりが多い場所
・振動が激しい場所
・腐食性のガスが発生する場所

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 0 ～ 40% 湿度 80% 以下(ただし、結露なきこと)



プラグを
抜け

設置や移動のときは電源プラグを抜く

本製品を設置、および移動を行う場合は、接続されている機器の電源スイッチを切り、AC アダプタをはずしてから行ってください。
AC アダプタのコードが傷つき、火災や、感電の原因となったり、機器の落下などによりケガの原因となることがあります。



指 示

本体ボディのお手入れ

本体ボディのお手入れは、柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤をふくんだ布でふいた後、からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。